



家畜保健衛生所だより

R7.2.25

群馬県前橋市で豚熱（CSF）が発生 （国内 96 例目、群馬県 11 例目）

2月21日、群馬県前橋市の養豚農場においてCSFの患畜が確認されました。群馬県の養豚場では1月23日の同市での発生に続き、11例目となります。

【発生農場の概要】

- ・ 農場所在地 群馬県前橋市
- ・ 飼養頭数 約8,700頭
- ・ 経緯 2月20日：農場から子豚の死亡増加がみられる旨の通報があり検査を実施。
国による精密検査の結果、2月21日、CSFの患畜決定

愛媛県では、昨年11月に四国で初めて養豚場でCSFが発生しました。また、野生イノシシのCSF感染は現在までに久万高原町での1例を含む6例確認されており、県内でも広範囲にウイルスが存在する可能性があります。

農場内へのCSFの侵入リスクは極めて高い状況です。野生動物の侵入防止対策や出入りの際の消毒等の飼養衛生管理及び早期発見・早期通報の徹底をお願いします！

◎適時・適切なワクチン接種が重要です。

飼養衛生管理を徹底の上で、適切なワクチン接種を行ってください。

◎農場内・豚舎内へのウイルス侵入防止対策について再点検を！

ワクチン接種しても全ての豚が免疫を獲得できるわけではありません。

農場の対策を再点検し、不十分な場合には、強化・徹底をお願いします。

◎飼養豚に異状がないか、日々の健康観察をお願いします。

CSFは、特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等の異状がないか、毎日確認し、異状がみられた場合には、すぐに下記までご連絡ください。

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

携帯 090-6282-6129（夜間・休日）